

平成30年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

音 楽

学年	指導上の成果と課題の分析→	授業改善の具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽にかかわり、歌唱の活動に意欲的に取り組んでいる。集団では元気良く歌っていても、一人では消極的になり歌唱表現の苦手な子供がいる。 【関心・意欲・態度】 ・鍵盤ハーモニカの技能に個人差が大きい。運指ができない児童も多数見受けられる。 【技能】 	<ul style="list-style-type: none"> ・部分練習や、友達と声を聴き合う時間等を設け、歌唱の技能が身に付くよう少人数や一人で歌を発表する機会を設定する。個別指導の時間を設定し丁寧に練習できるようにする。姿勢や口の開け方を、繰り返し、指導していく。 ・児童が鍵盤の位置を覚えたり、指使いを守って演奏したりできるように、電子黒板などのICT機器を活用して、練習に取り組むようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽にかかわり、歌唱・器楽とも意欲的に取り組んでいる。歌唱では元気良く声を合わせ歌うことができているが、必要以上に大きな声で自分勝手に歌ってしまう児童がいる。 【関心・意欲・態度】 ・器楽（鍵盤ハーモニカ）の技能では意欲的に吹くことができるが、運指ができない児童がいる。 【技能】 ・鑑賞では、音楽の形づくっている要素のかかわり合を感じ、演奏の楽しさに気付くことができる児童多い。 【鑑賞】 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことが好きという気持ちを大事にしながら、範唱を聴いて多くの歌を歌い、友達の歌声や伴奏を聴きながら暗唱することで、自分の歌声に気を付けて歌えるようにする。 ・音楽を形づくっている要素をその都度指導し、電子黒板を使って意識がもてるようにする。常時活動として毎時間練習に取り組むようにする。 ・電子黒板を使って曲にそった映像を流しながら鑑賞することで、鑑賞後に感じ取ったことを学級全体で共有し意見を交流する活動を丁寧にを行う。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽にかかわり、歌唱・器楽とも意欲的に取り組んでいる。歌唱は楽曲の気分を感じとってリズムに乗って明るい歌声で音量も大きく歌うことができ、歌うことが好きである。 【関心・意欲・態度】 ・リコーダーが始まり、意欲的に取り組んでいるが基本的な技能がまだ十分に身に付いていない児童も見られる。 【技能】 ・鑑賞では、音楽の形づくっている要素のかかわり合いを感じ、演奏の楽しさに気付くことや曲想を感じとったことを言葉に表せる児童が多い。 【鑑賞】 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことが好きだという気持ちを大事にしながら、電子黒板を使って歌詞や情景にそった映像を流し、想像し思いを持って様々な楽曲を歌うことで、自らの感性や創造性を発揮し自分にとって価値ある歌唱表現を見つけ出せるようにする。姿勢や口の開け方を、繰り返し、指導していく。 ・リコーダーの奏法を覚え、個やグループ練習の中でタンギングや指使いなどの基礎的な技能が身につくようにする。 ・電子黒板を使って曲にあった映像を流しながら鑑賞し、鑑賞後に感じ取ったことを学級全体で共有し意見を交流する活動を丁寧にを行う。

<p style="text-align: center;">4年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に音楽にかかわり、歌唱の技能面では、正確な音程で歌える児童が多く、歌詞や音楽の特徴を生かして表現を工夫しようとしている。 【関心・意欲・態度】 ・自然な発声で響きある歌声で歌える児童が増えてきた。 【表現】 ・器楽活動（リコーダー）では、意欲的に取り組み高いうの音まで概ね吹くことができる。 【技能】 ・鑑賞活動では、音楽の特徴を感じ取ることは概ねできているが、様子を思い浮かべたり、曲想を感じ取ったりする力が十分ではない。 【鑑賞】 	<ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて、電子黒板を使って歌詞や情景にそった映像を流し様々な楽曲を歌うことで、自らの感性や創造性を発揮し自分にとって価値ある歌唱表現を見つけ出せるようにする。 ・正しい姿勢や呼吸の方法や発声を繰り返し指導していくことで、自然な発声で歌えるようにする。 ・個で、ペアで、グループで練習することで、基礎的な技能を教え合いながら練習できるようにする。 ・電子黒板を使って曲にあった映像を流しながら鑑賞し、鑑賞後に感じ取ったことを学級全体で共有するために、意見交換できる時間を持ち、自分の意見を深められるようにする。
<p style="text-align: center;">5年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べて、意欲的に音楽にかかわり、歌唱や器楽表現に取り組んでいるが、まだ一人では歌唱表現が苦手な児童がいる。 【関心・意欲・態度】 ・自然な発声で響きある歌声で歌える児童が増えてきた。 【表現】 ・器楽活動は意欲的に取り組めるようになってきたが、まだリコーダーや鍵盤ハーモニカが苦手な児童がいる。 【技能】 ・鑑賞では、音楽の特徴を感じとることは概ねできているが、感じ取ったことを言葉で表す力が不足している。 【鑑賞】 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味を理解するために、電子黒板を使って曲にそった映像を流すことで、想像しながら思いをもって歌えるよう指導する。 ・響きのある歌声で歌うために、正しい姿勢や呼吸の方法や発声を繰り返し指導し、声帯に無理のない歌い方を指導する。 ・個で、ペアで、グループで練習することで、基礎的な技能を教え合いながら練習できるようにする。 ・鑑賞後に感じ取ったことを学級全体で共有するために、意見交換できる時間を持ち、自分の意見を深められるようにする。
<p style="text-align: center;">6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に音楽にかかわり、歌唱や器楽表現に取り組んでいる。 【関心・意欲・態度】 ・歌唱活動では思いをもって自己表現できる児童が多く、自然な発声で歌える児童も増えてきたが、まだ音量が足りない。 【表現】 ・器楽合奏に興味をもって取り組むことが出来る児童が多いが、リコーダーや鍵盤ハーモニカが苦手な児童がいる。 【技能】 ・鑑賞では、音楽の形づくっている要素のかかわり合いを感じる事ができる児童が多いが、感じ取ったことを言葉で表す力が不足している児童がいる。 【鑑賞】 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味を理解するために、電子黒板を使って曲にそった映像を流すことで、想像しながら思いをもって歌えるよう指導する。 ・柔らかい響きのある歌声で歌うために、正しい姿勢や呼吸の方法や発声を繰り返し指導し、声帯に無理のない歌い方を指導する。 ・個で、ペアで、グループで練習することで、基礎的な技能を教え合いながら練習できるようにする。 ・電子黒板を使って曲にあった映像を流しながら鑑賞し、鑑賞後に感じ取ったことを学級全体で共有するために、意見交換できる時間を持ち、自分の意見を深められるようにする。